

2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 1 月 20 日作成)

小委員会名	構造工学論文集編集小委員会	主 査 名：五十田 博 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会	委員長名：五十田 博
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 1 編につき 3 名による査読付き論文集『構造工学論文集』（日本学術会議土木工学・建築学委員会監修）を毎年 1 回刊行し、掲載論文を中心としたシンポジウムを開催することにより、産・官・学、各界の研究者・技術者に学術交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を図ることを目的に活動を行う。</p> <p>初年度：第 67 回構造工学シンポジウムの開催 2 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.68B』の刊行 第 68 回構造工学シンポジウムの開催 3 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.69B』の刊行 第 69 回構造工学シンポジウムの開催 4 年度：査読付き論文集『構造工学論文集 Vol.70B』の刊行 第 70 回構造工学シンポジウムの開催</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無（構造工学にかかわるあらゆる分野が論文の対象となるため、各運営委員会主査を委員に配するなどして、分野構成には特に考慮している）。</p> <p>主査：五十田博（京都大学） 幹事：吉敷祥一（東京工業大学）、高橋典之（東北大学）、中澤祥二（豊橋技術科学大学）、永野正行（東京理科大学）、山川 誠（東京理科大学）、米田雅子（日本学術会議／東京工業大学） 委員：五十嵐規矩夫（東京工業大学）、川口健一（東京大学）、菊地 優（北海道大学）、楠 浩一（東京大学）、田村修次（東京工業大学）、蜷川利彦（九州大学）、森 保宏（名古屋大学）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022 年度予算	350,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	第 68 回構造工学シンポジウム
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. すべて滞りなく達成した。
委員会活動の問題点 ・課題	<p>1. 主催者である日本学術会議土木工学・建築学委員会並びに共催の土木学会構造工学委員会・論文集編集小委員会と今後とも十分な事前調整が必要。</p> <p>2. 建築分野の投稿論文題数増加に向けた対策。</p>